

和歌山県

地域医療支援センター

CMSC

COMMUNITY MEDICAL SUPPORT CENTER

www.cmssc.jp/



令和3年度

活動報告書

和歌山県立医科大学 地域医療支援センター

CONTENTS

はじめに	1
業務内容	2
年間スケジュール	3
医師不足状況等の把握・分析	6
— 和歌山地域医療マネジメント研究会	
医師不足医療機関の支援、緊急時医師派遣・若手医師支援	7
— 地域医療枠・県民医療枠医師配置	
— 地域医療学講座・医師配置	
— 地域医療機関医師適正配置検討委員会	
— 遠隔医療支援システム	
— 遠隔外来	
— 遠隔講義聴講	
— 遠隔救急支援システム	
医師のキャリア形成支援・地域医療従事医師の養成	11
— AHA-BLS ヘルスケアプロバイダーコース講習会	
— 新入生説明会	
— 地域医療枠及び県民医療枠学生対象の学会早期体験研修	
— JMECC（内科救急・ICLS）講習会	
— 和歌山県副知事表敬訪問	
— 病院見学（県民医療枠）	
— 実習研修（地域医療枠）	
— 地域医療枠及び県民医療枠1、6年生面談	
— 和歌山県立医科大学専門研修プログラム説明会	
— キャリア形成計画（ヒアリング）	
— プライマリ・ケアセミナーの開催	
— 紀伊半島地域医療連絡協議会	
— 医師臨床研修指導医講習会の開催	
— 医師のワークライフバランスに係る講演会の開催	
— キャリア形成プログラム冊子の作成	
— スキルラボの充実	
情報発信と相談への対応	18
— オープンキャンパス	
— 地域医療学講義	
— 後期研修医募集ブースの出展	
— 報告書等の作成	
— ホームページ・Facebook の運用	

はじめに

平素より当センターの活動と地域医療枠・県民医療枠学生、研修医の教育にご高配を賜り、誠にありがとうございます。

当センターは、平成23年4月に和歌山県からの委託により和歌山県立医科大学内に設置され、本県の課題である医師の地域偏在及び診療科偏在の解消に向けて様々な取組を行っています。

卒業後9年間へき地医療拠点病院を中心に研修を行う「地域医療枠医師」、地域中核病院での研修を行う「県民医療枠医師」の1期生は、令和4年度で医師9年目となり、県内医療機関で活躍するとともに、県内医療機関からの医師配置要望にも徐々に応えられる段階に入ってきています。

今後も県の医療計画に沿って、県、県内医療機関、県医師会及び病院協会等との連携を密にしながら、地域医療の充実に向けてさらなる努力を行ってまいります。

その為には能力の高い医師を多く育てる必要があると考えています。能力が高い医師について私はよく山にたとえて話をしています。裾野は「人を診る力」と「病気を診断する力」にあたり、山頂は「病気を治療する専門医力」にあたります。裾野が広ければ広いほど、山頂も自ずと高くなります。私は富士山のような、広い裾野と高い山頂を持った、つまり、総合診療能力と高い専門知識、技量を持った医師を育成したいと思っています。

平成26年に構築した遠隔医療支援システム(インターネットを利用したテレビ会議システム)につきましては、県内公的病院等26施設へシステム端末を設置するとともに、平成29年度より3年間にわたり、NTTドコモ、和歌山県との協働で5Gを活用した遠隔診療に関する実証試験を実施しました。本年2月には、新システムに更新し引き続き遠隔外来及び遠隔講義聴講に活用しているところです。

今後も「地域の住民の皆さんが医療に困らないための仕組みづくり」に向け、地域の医療機関と連携しながら若手医師の育成と適正配置を進めていきたいと考えておりますので、皆様方のご支援、ご指導をお願い致します。



和歌山県立医科大学 地域医療支援センター
センター長・教授 上野 雅巳

業務内容

医師不足状況等の把握・分析

- 和歌山地域医療マネジメント研究会の開催

医師不足医療機関の支援、緊急時医師派遣・若手医師支援（地域医療学講座）

- 若手医師が勤務する医師不足医療機関への指導医派遣
- 医師不足医療機関への支援（緊急的診療応援）
- 地域医療機関医師適正配置検討委員会の運営
- 遠隔医療支援システムの運用
- 遠隔医療の推進

医師のキャリア形成支援・地域医療従事医師の養成

- AHA-BLS ヘルスケアプロバイダーコース講習会の開催
- 地域医療枠、県民医療枠新入生説明会の開催
- 地域医療枠、県民医療枠学生対象学会早期体験研修の実施
- JMECC（内科救急・ICLS）講習会の開催
- 副知事表敬訪問の実施
- 夏季研修
県民医療枠学生：県内公的医療機関見学を実施
地域医療枠学生：県内へき地医療拠点病院や保健所等での実習研修を実施
- 地域医療枠、県民医療枠 1、6 年生面談の実施
- 専門研修プログラム説明会の開催
- 地域医療枠、県民医療枠医師対象ヒアリングの実施及びキャリア形成計画の作成
- プライマリ・ケアセミナー及び勉強会の開催
- 三重大学、奈良県立医科大学合同による紀伊半島地域医療連絡協議会への参加
- 医師臨床研修指導医講習会の開催
- 地域医療枠、県民医療枠医師・学生対象講習会の開催
- キャリア形成プログラム冊子の作成
- スキルスラボの充実

情報発信と相談への対応

- 医学部オープンキャンパスでの地域医療に対する情報発信の実施
- 地域医療学講義の実施
- 後期研修医募集ブースの出展
- 地域医療支援センターパンフレットの作成
- ホームページ、Facebook の運用

年間スケジュール

4
APRIL

●地域・県民卒医師説明会



●新入生説明会



●第1回 JMECC (内科救急・ICLS) 講習会

5
MAY

●和歌山地域医療マネジメント研究会

CBRNE災害としてのCovid-19

Chemical (化学), Biological (生物), Radiological (放射線物質), Nuclear (核), high yield Explosives (高性能爆発物)

1995年 地下鉄サリン事件
2009年 H1N1 (新型) インフルエンザ
2011年 福島第一原子力発電所事故

五感でリスクを評価することが困難なため不安・恐怖が高まりやすい
▶ 心理的負荷、偏見が生じやすい

Covid-19対応医療従事者
▶ オーバーワーク (非日常診療)
▶ 感染リスクのプレッシャー
▶ 個人用防護具 (PPE) 装着の肉体的疲労

健康への影響
医療インフラへの打撃
認知不安・不確実性
感情の抑圧
(PTSD、気分障害、不安障害など)
認知の偏狭化
医学的知識を必要としない身体症状
健康状態の低下
即座の危険化

社会への影響
経済の停滞
情報の混乱
噂・デマ・虚説の増加
差別・中傷・いじめ・陰謀詭計
差別・中傷・いじめ・陰謀詭計
差別・中傷・いじめ・陰謀詭計
差別・中傷・いじめ・陰謀詭計

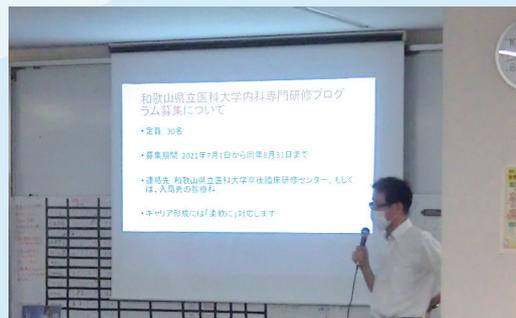
経済への影響
経済・経済活動
経済活動への影響
物資の不足
事業継続困難
休業・休業
労務管理の負担

行動
積極的
非協力的行動 (健康
アルコール
隔離)

(重村淳ほか, ト라우マティック・ストレス 18.71-79.2020)

7
JULY

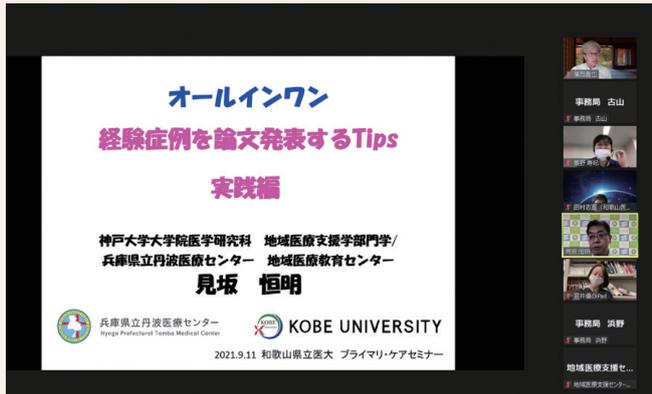
- 夏季実習研修 (地域医療枠)
- 夏季病院見学 (県民医療枠)
- 第2回 JMECC (内科救急・ICLS) 講習会
- 専門研修プログラム説明会



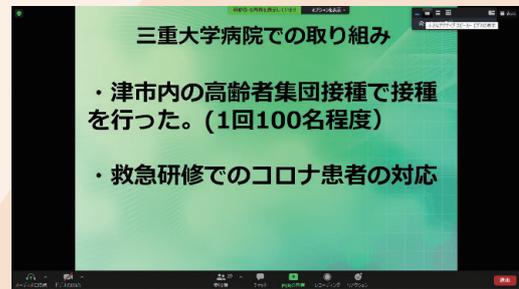
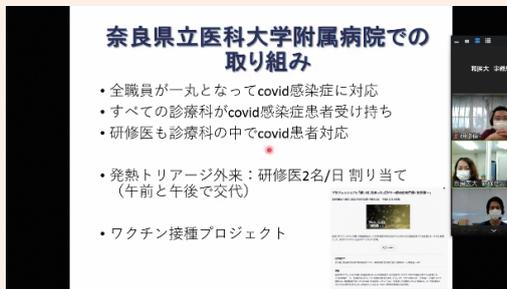
9

SEPTEMBER

●第1回プライマリ・ケアセミナー



●三重大学、奈良県立医科大学合同による紀伊半島地域医療連絡協議会 (令和3年度はオンラインでの開催)



●第3回 JMECC (内科救急・ICLS) 講習会

●学会早期体験研修 (地域医療枠・県民医療枠)



10

OCTOBER

●第4回 JMECC (内科救急・ICLS) 講習会

11
NOVEMBER

● 県庁訪問



- 第5回 JMECC (内科救急・ICLS) 講習会
- 医師のワークライフバランスに係る講演会

12
DECEMBER

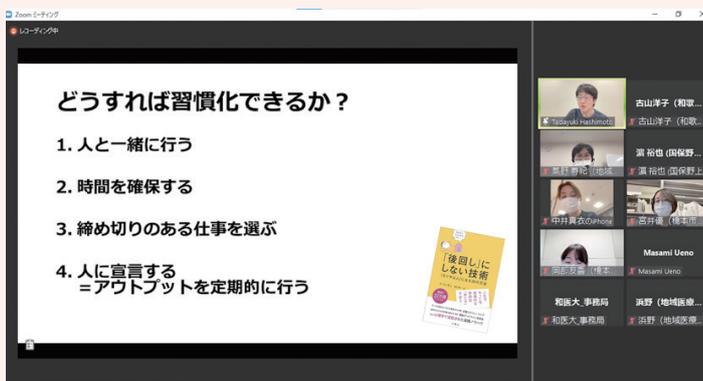
● 医師適正配置検討委員会



- 医師臨床研修指導医講習会 (令和3年度はオンラインでの開催)

3
MARCH

● 第2回プライマリ・ケアセミナー



医師不足状況等の把握・分析

和歌山地域医療マネジメント研究会

平成 25 年度から、医師や医療行政を担当する方、病院運営に携わる方など様々な職種の方々と一緒に和歌山県の地域医療に関する問題点や課題について考えることを目的として、年 1 回程度学術講演会を開催している。

令和 3 年度は、令和 3 年 5 月 15 日（土）に学術講演会『Covid-19 に対応する医療従事者へのメンタルヘルス支援』をオンライン開催し、県内外医療機関及び行政関係者等 54 名が聴講した。

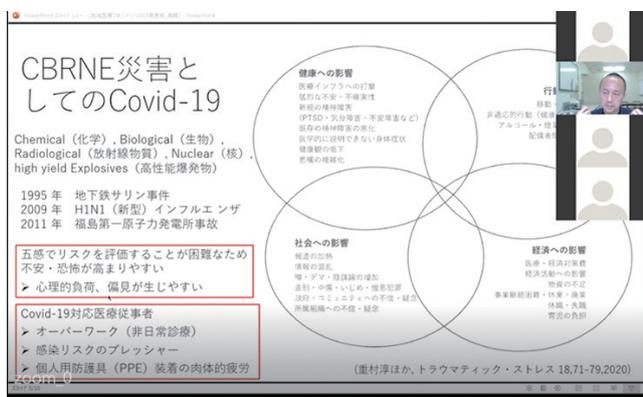
<講演内容>

講演 1：「遠隔医療支援システムを利用したメンタルケア支援体制の構築」

和歌山県立医科大学医学部 神経精神医学講座 講師 高橋隼先生

講演 2：「Covid-19 に関連する職員へのメンタルヘルス支援」

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 教授 武用百子先生



令和 3 年度和歌山地域医療マネジメント研究会 第 1 回学術講演会 『Covid-19 に対応する医療従事者へのメンタルヘルス支援』

日 時：令和 3 年 5 月 15 日（土）17:00~18:00

開催方法：Zoom によるオンライン開催

講演 1：「遠隔医療支援システムを利用したメンタルケア支援体制の構築」
和歌山県立医科大学医学部 神経精神医学講座 講師 高橋隼先生



講演 2：「Covid-19 に関連する職員へのメンタルヘルス支援」
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 教授 武用百子先生



参加申込方法 ※事前のお申し込みが必要です。【5/14（金）午後 4 時締切】

①スマホ・タブレット

右記の QR コードをスマートフォンやタブレットのカメラで読み取り、申込みフォームからお申し込みください。



パソコン

以下の申込みフォームに直接アクセスし、お申し込みください。
<https://forms.gle/oNDezgeNRJ5phc9A>

②開催日前日までに、事務局より講演会専用 URL、ミーティング ID、パスワード等を記載した招待メールをご登録いただいたメールアドレスへ送信します。

③講演会当日、お時間になりましたら、講演会専用 URL 又はミーティング ID でアクセスし、ご参加ください。

主催：和歌山県立医科大学地域医療支援センター（附属病院東棟 3 階）
〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811-1 TEL：073-441-0845

共催：和歌山県

医師不足医療機関の支援 緊急時医師派遣・若手医師支援

地域医療枠・県民医療枠医師配置

へき地医療拠点病院を中心に研修を行う「地域医療枠医師」、地域中核病院での研修を行う「県民医療枠医師」の配置状況は別図のとおり。

なお、地域医療枠医師及び県民医療枠医師の1期生は医師8年目となり、今後も県内医療機関で活躍する医師が増加する予定。

●医師配置状況

(R3.4.1時点)

保健医療圏	地域医療枠	県民医療枠	合計
和歌山(和歌山市)		19	19
和歌山(海南市、紀美野町)	3	3	6
那賀		6	6
橋本	1	11	12
有田	3	2	5
御坊	2	4	6
田辺	8	8	16
新宮	9	6	15
合計	26	59	85

●学生数(参考)

(R3.4.1時点)

区分	地域医療枠	県民医療枠	合計
医学部1年生	10	20	30
医学部2年生	10	21	31
医学部3年生	10	22	32
医学部4年生	9	24	33
医学部5年生	10	19	29
医学部6年生	5	32	37
合計	54	138	192

地域医療学講座・医師配置

和歌山県立医科大学の医師(指導医)が自治医科大学や地域医療枠等を卒業した若手医師が勤務する医師不足医療機関にローテーションで出向する仕組みを運用し、指導医は出向先である当該医療機関で勤務して地域医療の充実に貢献するとともに、同じく勤務する若手医師の指導を行った。

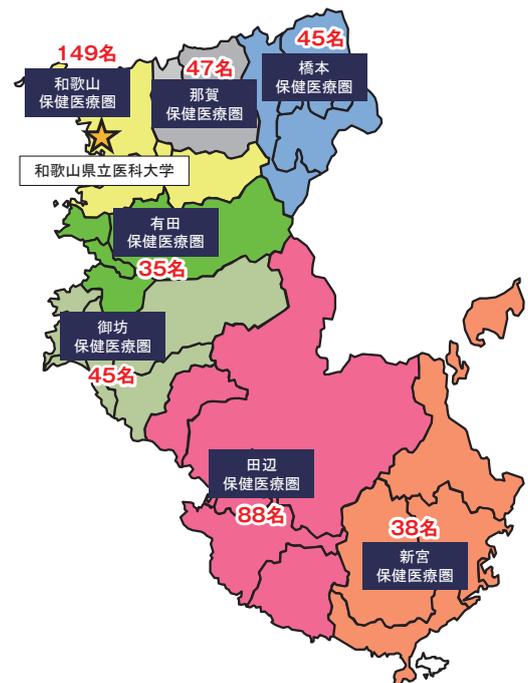
●緊急時医師派遣・若手医師支援

(地域医療学講座による指導医の配置)

有田市立病院内科	2名
紀南病院内科	1名
新宮市立医療センター内科	1名

●医師配置状況(令和3年4月1日現在)

県内公的病院等 447名(右図のとおり)



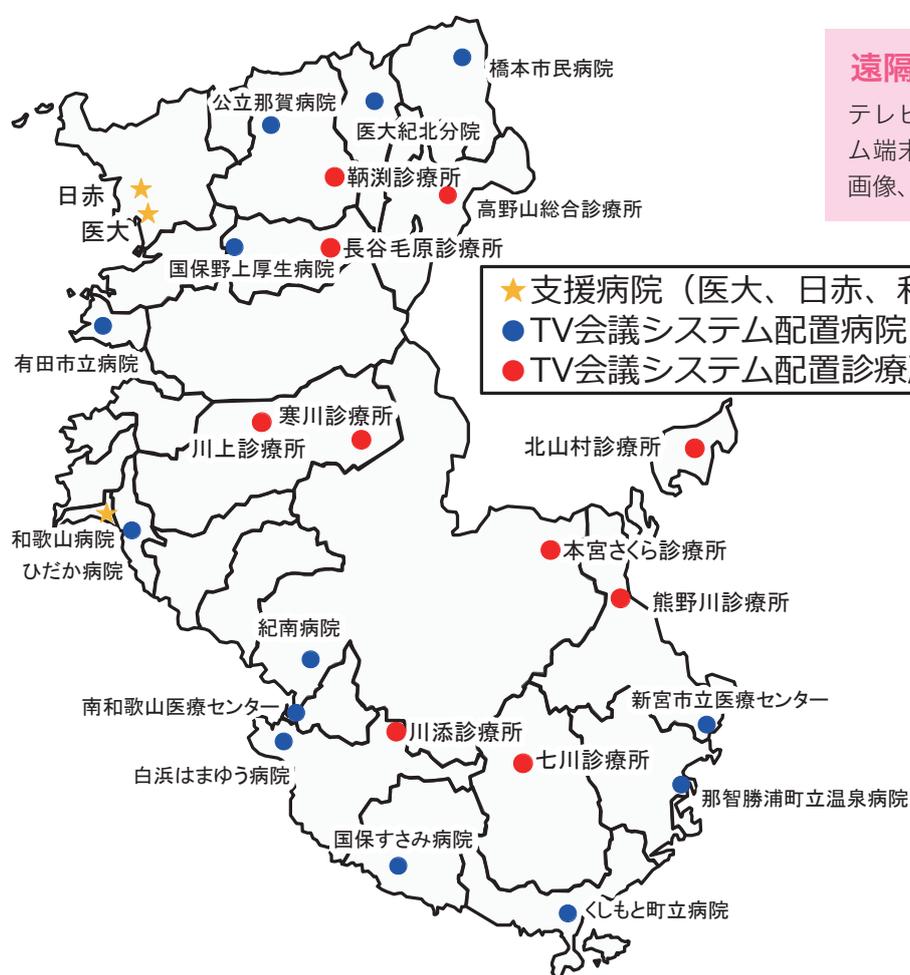
県内公的病院等への医師配置状況

地域医療機関医師適正配置検討委員会

平成 25 年から、地域医療機関からの常勤医師配置要請に対して、支援の必要性について審議する地域医療機関医師適正配置検討委員会を学内に設け、大学として一元的に対応している。令和 3 年度は 14 の医療機関から要請があり、9 の医療機関に対して必要性ありと判断し、令和 4 年度から 6 の医療機関に 16 名の医師を配置予定である。

遠隔医療支援システム

へき地診療所等に遠隔医療支援システム端末を設置し、遠隔外来支援、遠隔講義聴講を実施することにより、勤務医師の診療支援及び地域医療枠医師等のキャリア形成を支援した。また、遠隔医療支援システム構築・運用保守について、2 月に新システムを導入。パソコン及び周辺機器についてはリース契約、会議システムについては Webex Meetings を導入し、運用を開始した。



遠隔医療支援システムとは？
テレビ会議システムを利用し、システム端末設置医療機関とリアルタイムで画像、音声等の情報交換が可能。

- 平成 25 年度末までに本学と県内 13 公的医療機関にシステム端末を設置
- 平成 27 年度末には、平成 28 年度から地域医療枠医師が勤務する紀南病院を含め、新たに 3 医療機関にシステム端末を設置
- 平成 29 年度末には、新たに 6 医療機関にシステム端末を設置
- 平成 30 年度末には、新たに 4 医療機関にシステム端末を設置

遠隔外来

和歌山県立医科大学附属病院から遠い地域に住む県民が地元の医療機関で本院の専門医のアドバイスを受けることが可能となる遠隔外来を実施した。

令和3年度は、実施枠を22診療科47専門外来及び栄養指導に拡大した。

● システム端末設置医療機関との協定の締結や本院における実施診療科の選定等を経て、平成26年7月11日から実施している。

● 令和3年度実績 (146件)

皮膚科.....6件	神経精神科.....4件
病態栄養治療部.....3件	麻酔科.....2件
血液内科.....4件	整形外科.....1件
小児科.....2件	内科学第一.....1件
内科学第二.....1件	歯科口腔外科.....1件
リウマチ・膠原病科学講座.....1件	教育研究開発センター.....1件
メンタルヘルス相談119件	

● 遠隔外来広報チラシ及びポスターを作成し関係者へ配付するとともに、ホームページや病院広報誌「まんだらげ」及び県民の友を通じて、県民への周知を図った。

● システム端末設置医療機関を訪問し、医師や関係職員へ利用状況をヒアリングするとともに、利用方法等について個別説明を実施した。



遠隔講義聴講

地域医療粋医師が地域の医療機関での勤務を開始したことに対応し、本学まで来ることなく勉強会に参加できるように遠隔医療支援システムを整備している。

また、本学で開催される講演会やセミナー等をシステム端末設置医療機関の希望に応じて配信するなど、最新の医療情報等をより広く早く伝えることにより、地域医療を支援した。

- 地域医療粋医師へのキャリア形成面談で利用
- 新型コロナウイルスについてのカンファレンスで利用



遠隔救急支援システム

遠隔救急支援システムに関しては、4診療科（循環器内科・心臓血管外科・脳神経外科・救急科）へ配備しているモバイル端末を活用し、県内13医療機関間で救急患者の検査画像等を正確かつ迅速に共有することで救急医療の連携強化を図っている。手術等の受入態勢及び治療開始時間の迅速化による救命率の向上や、不要不急の三次救急医療機関への転送防止による患者及び医師の負担軽減につなげている。また、令和2年2月から、新型コロナウイルス感染症の疑いがある患者の受入病院の選定にも活用している。令和3年度利用実績は、計198件であった。



医師のキャリア形成支援・ 地域医療従事医師の養成

AHA-BLS ヘルスケアプロバイダーコース講習会

研修医の交流と心肺蘇生の確実な実技取得を目的として講習会を開催。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、対象者別に2期に分け、少人数制で実施。第1期（令和3年4月～6月）は令和2年度採用研修医・歯科医（内、昨年同コース未受講者）61名、第2期（令和3年9月～12月）は令和3年度本院採用研修医・歯科医59名及び臨床研修病院採用研修医・歯科医35名を対象とした。



新入生説明会

令和3年4月20日(火)に地域医療枠及び県民医療枠新入生を対象にZoomを用いたオンライン説明会を開催し、地域医療枠及び県民医療枠に求められる役割の周知を図った。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかったため、本年度は1・2年生を対象に開催した。

地域医療枠

プライマリ・ケアを実践し、高い総合的能力を有する医師及び医師研究者を育てる。

和歌山県から修学資金が貸与される募集枠で、卒業後9年間のうち5年間は、へき地医療拠点病院等を中心に研修を行う。

県民医療枠

和歌山県の地域医療に携わるとともに、医療・医学のリーダーとして活躍できる人材を育てる。

卒業後9年間のうち4年間は、地域の中核的役割を果たす県内公的病院で研修を行う。

地域医療枠及び県民医療枠学生対象の学会早期体験研修

地域医療枠及び県民医療枠1～6年生の希望者を対象に学会早期体験研修を実施。令和3年9月23日(木・祝)～25日(土)開催の第83回日本血液学会学術集会に1名がオンラインで参加した。

会期 ● 2021年9月23日(木・祝)～25日(土)

※ライブ配信：2021年9月23日(木・祝)～25日(土)
※オンデマンド配信(教育講演)：2021年9月23日(木・祝)～10月15日(金)
※ライブ録画配信(学術プログラム・コーポレートセミナーの一部)：
2021年10月4日(月)～10月15日(金)

会長 ● 張替 秀郎
東北大学大学院 医学系研究科 血液・免疫病学分野

Homeostasis and Resilience
— 恒常性と復元力 —

完全Web開催

JMECC（内科救急・ICLS）講習会

令和3年4月10日（土）、7月10日（土）、9月18日（土）、10月30日（土）、11月21日（日）に、地域医療枠及び県民医療枠医師等の能力向上を目的とし、主に研修医2年目を対象として講習会を開催した。受講者全員が二次救命措置（ALS:Advanced Life Support）の技能を習得した。



和歌山県副知事表敬訪問

令和3年11月11日（木）に地域医療枠及び県民医療枠の1年生30名が県庁を訪問し、副知事と懇談した。

病院見学（県民医療枠）

県民医療枠4年生24名が、夏季休業中に卒業後に勤務する県内公的医療機関を見学した。

実習研修（地域医療枠）

令和3年7月27日（火）～8月20日（金）に地域医療枠1～5年生37名が県内へき地医療拠点病院や保健所等の医療現場で実習・見学を行い、医師を志す者として地域医療の魅力や特性を理解し、地域医療に従事する医師の役割及び責任についての認識を深めた。

地域医療枠及び県民医療枠1、6年生面談

令和3年7月に地域医療枠及び県民医療枠1年生に対して、地域医療枠及び県民医療枠の制度説明、卒前・卒後のキャリア形成についてのヒアリングを実施した。

同6月～7月に地域医療枠及び県民医療枠6年生に対して、卒業後の進路に関するヒアリングを実施した。

和歌山県立医科大学専門研修プログラム説明会

令和3年7月30日（金）に本院の初期研修医を対象に専門研修プログラム説明会を開催した。

出展病院

●和歌山県立医科大学附属病院

内科、小児科、皮膚科、精神科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、病理、救急科、形成外科、リハビリテーション科、総合診療科

●わかやま社会医学系専門医研修プログラム管理委員会

社会医学



キャリア形成計画（ヒアリング）

地域医療枠・県民医療枠・近大和歌山県枠学生及び医師のキャリア形成支援の一環として、県の委託を受けて面談・ヒアリングを実施した。

- 令和3年6月～7月に地域医療枠医師及び近大和歌山県枠医師が派遣されている公立病院を訪問し、職場環境や業務内容に関するヒアリングを実施した。

地域医療枠医師 及び 近大和歌山県枠医師 勤務先

- 橋本市民病院
- 国保野上厚生総合病院
- 有田市立病院
- 県立こころの医療センター
- ひだか病院
- 紀南病院
- 紀南こころの医療センター
- 南和歌山医療センター
- 国保すさみ病院
- くしもと町立病院
- 那智勝浦町立温泉病院
- 新宮市立医療センター
- 新宮市熊野川診療所

- 同9月～10月に2年目研修医（地域医療枠、県民医療枠及び近大和歌山県枠）に対して卒後3年目以降のキャリア形成についてヒアリングを実施した。
- 同11月に地域医療枠医師に対して、次年度の勤務先についてヒアリングを実施した。
- 令和4年3月に県民医療枠医師が所属する診療科長に対して、個人毎のキャリア形成計画（卒業後3年目以降の勤務先病院）の作成を依頼・更新した。
- このほか、県民医療枠学生及び医師に関する個別事案への対応手順を定め、入学時に誓約している卒業後9年間のキャリア形成を本学及び地域中核病院で行うこと等に関して、義務の猶予等の申し出等があった場合、適切に対応できる体制を構築・運用している。

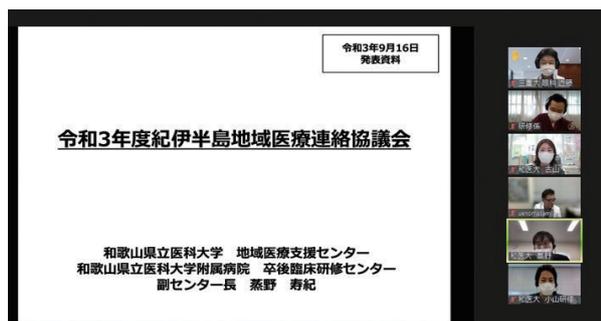
プライマリ・ケアセミナーの開催

総合的な診療能力を有する医師に必要となる知識や技能を学ぶとともに、総合診療についての理解をより深めることを目的に、プライマリ・ケアセミナーをオンライン開催。総合診療に携わる指導医、総合診療に興味のある学生及び研修医等を対象とし、第1回（令和3年9月11日（土））は28名、第2回（令和4年3月8日（火））は29名が参加した。

紀伊半島地域医療連絡協議会

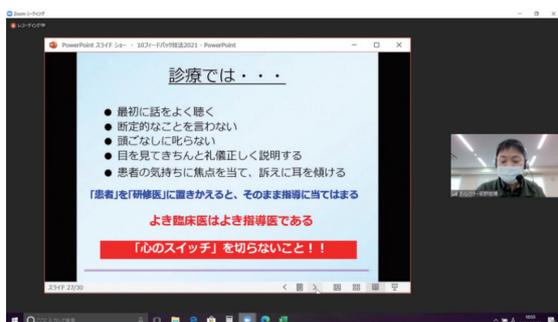
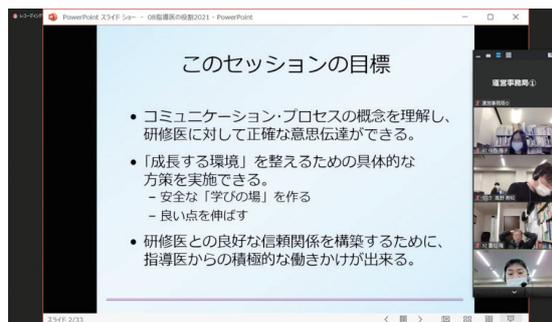
三重大学、奈良県立医科大学、和歌山県立医科大学の初期臨床研修医、教員等が一堂に会し、紀伊半島の地域医療、特にへき地医療について協議することにより、連携体制を構築するとともに、地域医療に貢献する医療人を育成することを目的として毎年輪番制で開催しており、令和元年度については奈良県、令和2年度については新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためオンラインにて開催された。

令和3年度についても9月16日（木）にオンラインにて開催され、三重県及び奈良県の大学・行政関係者と「新型コロナウイルスが臨床研修に与えた影響」をテーマに意見交換会を実施した。



医師臨床研修指導医講習会の開催

令和3年12月4日（土）及び5日（日）に本院の主催により、指導医講習会を開催。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンライン開催とした。レクチャー・演習に加え、グループ作業や共有を交えて16時間の講習を実施し、合計47名に修了証書を交付した。



医師のワークライフバランスに係る講演会の開催

地域医療枠及び県民医療枠の医師・学生を対象として、令和3年11月4日（木）に講演会『女性医師の出産・育児とキャリア形成について』をオンライン開催し、34名が参加した。

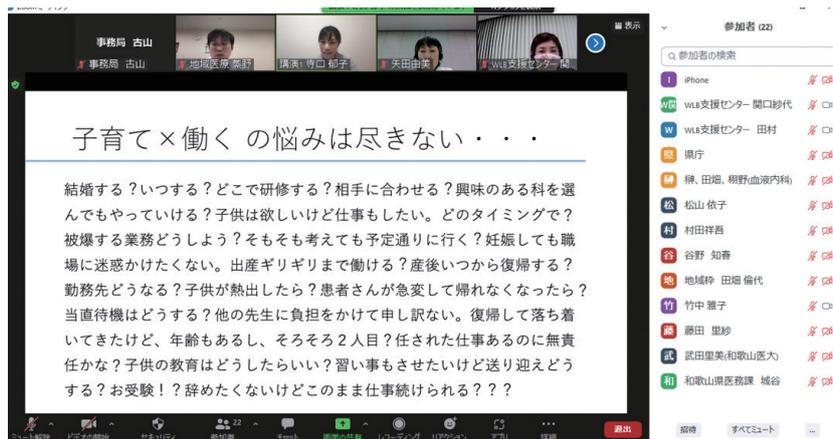
<講演内容>

演題1：「子育て×働く」

ひだか病院 循環器内科医長 寺口郁子先生

演題2：「女性外科医の work life balance」

和歌山県立医科大学 第1外科学講座 助教 矢田由美先生

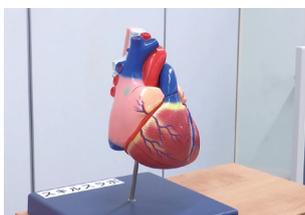


キャリア形成プログラム冊子の作成

新専門医制度の概要や各科プログラムを案内した冊子を作成、地域医療枠医師への配布や専門研修合同説明会で利用する等活用した。

スキルスラボの充実

選択制臨床実習の期間に本学医学部6年生が地域の病院で行う実習の支援や若手医師が手技等を練習する場所であるスキルスラボの拡充を図った。使用実績は学内3,144件、学外212件、合計3,356件であった。



情報発信と相談への対応

オープンキャンパス

医大 Youtube チャンネルを活用した医学部オープンキャンパスに参加し、上野センター長による「和歌山県の医療の現状」についての講演と、「地域医療支援センターの施設案内」について録画配信を行った。



地域医療学講義

本学医学部 2～4 年生に対して、地域医療学の講義やグループワークを 13 講義実施。新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて遠隔授業も活用した。

後期研修医募集ブースの出展

WEB 上説明会である専門・後期研修病院合同説明会「e-resi fair ONLINE Week 2021」（令和 3 年 6 月 14 日（月）～ 20 日（日））に出展。全国の初期研修医に本院の研修内容を周知する機会を設けた。



報告書等の作成

地域医療支援センター活動報告書、地域医療支援センターパンフレット、遠隔外来広報チラシ及びポスター等を作成した。

和歌山県地域医療支援センター
Wakayama Community Medical Support Center

TEL: 073-441-0845 FAX: 073-441-0846
http://www.cmsc.jp/

和歌山県地域医療支援センター
Wakayama Community Medical Support Center

www.cmsc.jp

3つの柱

- 地域医療・臨床医学生への学びの支援
- 地域の医療と保健の連携
- 遠隔医療システム

遠隔医療支援システム

遠隔診療システム、遠隔検診システム、遠隔検査システム

地域医療枠・県民医療枠、医師のキャリア形成をサポートします！

地域医療枠（臨床医学生）
県民医療枠（臨床医学生）

和歌山県地域医療支援センター
CMSC

www.cmsc.jp

令和2年度活動報告書
和歌山県立医科大学 地域医療支援センター

令和3年度和歌山地域医療マネジメント研究会
第1回学術講演会

「Covid-19に対応する医療従事者へのメンタルヘルス支援」

日：令和3年5月15日（土）17:00～18:00
開催方法：Zoomによるオンライン開催

講演1：「Zoom応用システムを利用したメンタルケア支援体制の構築」
和歌山県立医科大学 神経精神医学講座 講師 高橋 尚典先生

講演2：「Covid-19に関連する職員へのメンタルヘルス支援」
大阪大学大学院システム科学研究科保健学専攻 教授 武内 百子先生

参加申込方法 要事項のお申込みが必要です。【5/14（金）午後4時締切】

①スマホ・タブレット
右記QRコードをスマートフォンやタブレットのカメラで読み取り、申込みフォームからお申し込みください。

②開演日前日までに、事務局より講演会専用URL、ミーティングID、パスワード等を記載した招待メールをご登録いただいたメールアドレスへ送附いたします。

③講演会当日、お時間になりましたら、講演会専用URL又はミーティングIDでアクセスし、ご参加ください。

主催：和歌山県立医科大学地域医療支援センター（郡浜病院東棟3棟）
〒641-8509 和歌山県三井寺811-4 TEL: 073-441-0845
共催：和歌山県

みなさんも「遠隔外来」を受けてみませんか？

令和3年度は22診療科47専門外来及び栄養指導で実施します。
（詳しくは「令和3年度遠隔外来実施枠」をご覧ください。）

お近くのシステム設置医療機関
和歌山県立医科大学 附属病院の専門診療科

遠隔外来とは？
遠隔医療支援システムを利用することにより、お近くのシステム設置医療機関（詳しくは「遠隔医療支援システム設置医療機関一覧」をご覧ください。）で和歌山県立医科大学附属病院の専門診療科によるアドバイスを受けることができます。

遠隔外来のメリットとは？
和歌山県立医科大学附属病院まで来院されなくても、お近くの医療機関で専門の医師等のアドバイスを受けることができます。また、遠隔に関する時間や場所の制約も軽減されます。各診療科の医療機関の所在地は、和歌山県立医科大学地域医療支援センターのウェブサイトをご覧ください。遠隔医療の活用により、お近くの遠隔医療支援システム設置医療機関までお問い合わせください。

詳しくは和歌山県立医科大学地域医療支援センター又はお近くの遠隔医療支援システム設置医療機関までお問い合わせください。

和歌山県立医科大学地域医療支援センター
TEL: 073-441-0845 FAX: 073-441-0846 E-mail: cmsc@cmsc.jp
利用時間：月～金 午前9時～午後5時 土日祝日休み（夜間急ぎの患者さんを受け、）

遠隔医療支援システム設置医療機関一覧

医療機関名	電話番号
和歌山県立医科大学附属病院	073-423-2200
和歌山県立医科大学附属病院北分科	0736-22-3664
公立和歌山病院	0736-77-2019
和歌山県立総合医療センター	073-422-7171
和歌山県立総合医療センター	073-489-2178
和歌山県立総合医療センター	073-422-1151
和歌山県立総合医療センター	0736-22-3256
和歌山県立総合医療センター	0736-22-1111
和歌山県立総合医療センター	0736-26-7050
和歌山県立総合医療センター	0736-43-2000
和歌山県立総合医療センター	0736-51-0665
和歌山県立総合医療センター	0735-62-7111
和歌山県立総合医療センター	0735-51-0555
和歌山県立総合医療センター	0735-31-3333
和歌山県立総合医療センター	0736-56-2911
和歌山県立総合医療センター	073-79-0109
和歌山県立総合医療センター	073-499-3300
和歌山県立総合医療センター	0736-56-3396
和歌山県立総合医療センター	0736-8-0012
和歌山県立総合医療センター	0735-42-1101
和歌山県立総合医療センター	0739-45-0337
和歌山県立総合医療センター	0735-77-0232
和歌山県立総合医療センター	0735-44-3114
和歌山県立総合医療センター	0735-49-2114

令和3年度 遠隔外来実施枠

和歌山県立医科大学地域医療支援センター
和歌山県立医科大学地域医療支援センター

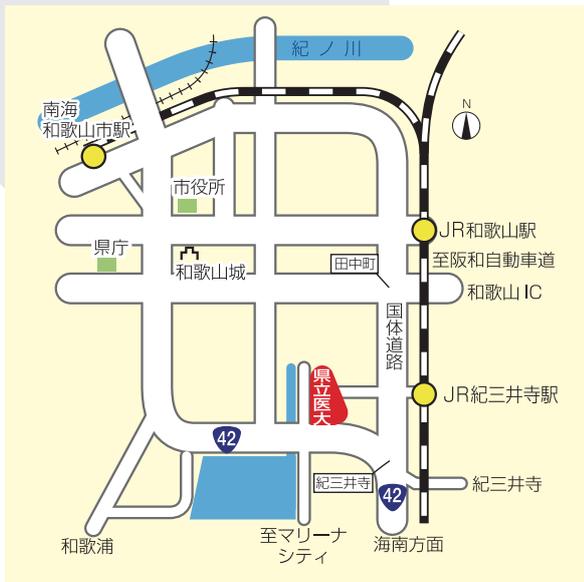


和歌山県立医科大学 地域医療支援センター

〒641-8509 和歌山市紀三井寺811番地1

TEL : 073-441-0845 FAX : 073-441-0846

Access Map



- JR紀三井寺駅 → 徒歩(約10分)
- JR和歌山駅 → バス・タクシー
- 南海和歌山市駅 → バス・タクシー

- JR和歌山駅前
1番のりば「医大病院」行 約25分
2番のりば「医大病院」行 約30分

- 南海和歌山市駅前
1番のりば「医大病院」行 約30分
8番のりば「医大病院」行 約30分
9番のりば「医大病院」行 約30分

令和4年6月発行

発行 和歌山県立医科大学 地域医療支援センター センター長
和歌山県地域医療支援センター センター長

教授 上野 雅巳